

CCBJニュースレター 第110号

2023年9月28日

会員の皆様、

先日はメールにてお送りしましたアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。皆様からのご意見は、当会議所の活動の絶え間ない改善を進める上で重要な意味を持つものです。未回答の方は、下記のリンクからご回答いただけますのでご活用ください。

CCBJと日本ブラジル中央協会共催のゴルフコンペにご参加いただきました皆様にも感謝申し上げます。スポーツを通じた交流はネットワーキング拡大に繋がります。

また先日メールにてご案内いたしました、当会議所のサイトやFacebookでの会員企業関連のニュース掲載につきましては、無料サービスとなりますのでご検討の上、ご興味を持たれた方はご連絡下さいますようお願い申し上げます。

今月のニュースレターでは、フローラズール代表の田中美果氏にブラジルと日本間のビジネスを強化するための方法についてご寄稿いただきました。

そのほかにも、ブラジルで導入予定のデジタル通貨や、PwCが行った暗号資産に関する調査、ブラジル銀行とBMOファイナンシャル・グループによるブラジルの輸出強化に向けた取り組みに関するニュースも取り上げましたので、是非ご覧ください。

それではどうぞよろしくお願い致します。

CCBJ会頭
行徳セルソ

(寄稿)

関係者間の連携でブラジルビジネス・文化の継続的促進

フローラズール代表の田中美果氏

当 FLOR AZUL は輸出入サービスを中心とした貿易事業を行っております。
今回は普段から私自身が交流のある経営者の方々から頂いた意見やアドバイスを交えながら私見を述べたいと思います。

ワールドカップ、オリンピックと2度の大きな国際的イベントを通じて日本社会に浸透したブラジル製品が増えました。アサイー、ポンデケージョなどは日本風アレンジの商品も多いですがその一例でしょう。大祭典を通じてブラジル文化がクローズアップされブラジルフアンが増えたことは喜ばしいですが、私自身は中途半端に開拓され忘れられた部分もかなり多く残念に感じています。事実「今さらブラジルでもないでしょう?」との声を聞くことさえあります。逆にブラジルと関わっている人々の間では「今後は日本を超えるほど大きく成長するポテンシャルがある」と言われていますが、関係者間だけの情報で一般的には認識されていないのではないのでしょうか。

ブラジルへの関心を惹くために関係者間で連携して改めて促進活動を行う必要があると思います。一般消費者向け「B to C」に関しては毎年開催されている CCBJ 主催「ブラジル フェスティバル」の効果は大きいと思います。エンターテインメント、ファッション、グルメ等ブラジル文化を体感させることで新たなブラジルフアン誕生に貢献しています。残念なのは年一回だけのイベントであることで、ブラジルへの関心を継続させるための活動が必要です。韓流ビジネスの事例に見られる、エンターテインメントと商品促進活動のコラボなどを参考にしていかがでしょうか。

又、「B to B」においては特に中小企業向けの提案が必要です。過去に多くのブラジル投資セミナーが開催されてきましたが、勉強会のレベルで終わってしまうケースがほとんど。資源大国ブラジルと技術大国日本とのビジネスマッチング、例えば日本の製造業に必要な原材料確保のために、ブラジルから供給可能な資源や商材、調達方法等をアピールすることも有益な方法です。

今まで弊社は輸入事業にてブラジル商材の納品、文化交流会通じてのブラジル文化紹介を行ってきましたが、小規模事業主で出来ることには限界があります。CCBJを中心に会員企業の皆様、大使館、ApexBrasil 等の公的団体が連携してブラジルの無限の可能性をアピールすることが重要と思います。

ブラジルでデジタル通貨導入へ

ブラジルで導入予定のデジタル通貨の名称がDREXに決まりました。デジタル通貨は中央銀行が管理する専用プラットフォームで発行するもので、現金と同等の価値を持ちます。DREXにより、デジタル資産やスマートコントラクトに関わる様々な金融取引が安全に行えるようになります。DREXを使った取引は、銀行などの金融機関を通じて、DREXのポートフォリオ口座に預けた資金を使って行います。

詳細はこちら：<https://www.bcb.gov.br/estabilidadefinanceira/drex>

出所：ブラジル中央銀行

年次レポート「Crypto Hedge Fund Report」

PwCブラジルは、2022年の暗号資産のヘッジファンド界の進化や、世界情勢がヘッジファンド市場や市場参加者に与えた影響などを調査した年次レポート「Crypto Hedge Fund Report」を発表しました。それによると、従来型のヘッジファンドで暗号資産に投資するファンドの割合は前年の37%から29%に減少しました。一方、米国内の規制環境のため暗号資産に関する戦略を見直しているファンドの割合は23%になりました。また暗号資産ヘッジファンドの93%は、2023年末時点の暗号資産の時価総額が2022年を上回ると予想しています。

出所：PwC

ブラジル銀行 **BMO**ファイナンシャル・グループと輸出強化で協力

ブラジル銀行とBMOファイナンシャル・グループは、低炭素農業で生産された作物などの輸出拡大を目指し、輸出前貸（ACC）や輸出手形買取（ACE）を対象としたサステナビリティ・リンク・ローンを実行するための覚書を締結しました。ブラジル国内では初の取り組みで、貿易金融の慣行改善を奨励し、世界の主要市場に向けて高品質が認められた商品を提供する事業をサポートをすることにより、ブラジル産の環境に配慮した低炭素製品の輸出チェーン強化を図ります。

詳細はこちら：

<https://agenciagov.ebc.com.br/noticias/202309/banco-do-brasil-e-bmo-financial-group-lancarao-programa-inedito-para-fornecer-sustainability-linked-trade-loans-a-exportadores-brasileiros>

出所：ブラジル銀行